

## 第 28 回地方公務員共済組合連合会資金運用委員会議事要旨

1. 日 時：平成 30 年 11 月 9 日（金） 10:50～12:00
2. 場 所：地方公務員共済組合連合会 特別会議室
3. 出席した委員：
  - ・若杉座長 ・川北委員 ・喜多委員 ・佐藤委員 ・高山委員
  - ・竹原委員
4. 議 事
  - (1) 外国株式・国内債券のマネジャー・エントリー制について
  - (2) プライベート・デット及びバンクローンのマネジャー・エントリーの状況とプロダクト選定方針について
  - (3) 平成 30 年度第 1 四半期及び第 2 四半期の各積立金の運用状況
  - (4) 平成 30 年度第 1 四半期及び第 2 四半期の各積立金のリスク管理状況
  - (5) 平成 30 年度（4 月～10 月）の資産配分の状況について
  - (6) 退職等年金給付調整積立金の財政再計算等について

### 〈議事の概要〉

- ・事務局から上記議題について資料の説明が行われた。
- ・その後、意見交換が行われた。

- (1) 外国株式・国内債券のマネジャー・エントリー制について
  - スチュワードシップ責任については、必ずしも株式だけに限定をしなくてもよいと思われるので、検討していただければと思う。
  - 国内債券のエントリー状況のなかに、ヘッジ付き外債を組入れたプロダクトについての記載があるが、例えば、今後の検討課題として、ヘッジ付き外債の信用リスク等をどう整理するのか検討していただければと思う。
  - 運用スタイルによっては、足元の運用実績を見たほうがよい場合もあるかと思うので、どの程度の期間で見るのかを柔軟に対応したほうがよいかと思う。

- 評価項目により、エントリーの幅を狭めてしまわないよう、運用スタイルに応じた評価の方法を検討してほしい。
  
- (2) プライベート・デット及びバンクローンのマネジャー・エントリーの状況とプロダクト選定方針について
  - さらなる応募を促すような仕組みが必要であると感じる。
  
  - 他の共済組合等がオルタナティブ投資をするに当たり、プロダクトの選定やリスク管理の体制等について、地方公務員共済組合連合会からアドバイスをしているのか。
  - マネジャー・エントリーの運営の仕方、プロダクトの選定、モニタリングの方法等について、他の共済組合等と情報交換をしているところである。

以上